

## 里山の稚児行列、見物客を魅了

山之口花木あげ馬

県指定無形民俗文化財で4年に1度開催される花木あげ馬が7月24日、山之口町花木の南方神社周辺で行われました。参勤交代の道中の無事と島津家安泰を祈った江戸時代の祭礼を再現。稚児役などさまざまな役割にふんじた地区住民約100人の大行列が、南方神社までの道のりを練り歩きました。紋付きはかま姿で馬にまたがった稚児が通りかかると、詰めかけた見物客からは歓声が上がっていました。稚児役の山田大雅くん(5歳)は、暑さと緊張にも負けず大役を務めていました。



## ぬきもぬき寒みも寒みと交流会

都城・旭川ホームステイ交流

都城市と旭川市の児童生徒が夏と冬に交互にホームステイして交流を深める都城・旭川児童・生徒ホームステイ交流が、7月27日から31日の日程で開催されました。昭和62年に始まりこれまで319人が参加したこの交流会も、参加者の減少により25回目の今回が最後。28日には吉之元町の都城焼窯元で陶器づくりに挑戦し、慣れない手つきでコーヒーカップや皿づくりに取り組みました。佐々木願くん(山之口小5年)は「仲良くなった友達と旭川で遊ぶのが楽しみ」と笑顔で話していました。



## 浮かび上がる朱塗りの杯

お雪さんの盃流し

関之尾滝にまつわる伝説に由来するお雪さんの盃流しが7月30日、関之尾滝上流で行われました。約600年前、ときの城主の酒宴で粗相し、それを苦に身を投げたお雪さん。悲しむ恋人に伝えるように毎年明月の夜、朱塗りの杯が滝つぼに浮かび上がったとの伝説を再現し、観光PRにつなげていました。今年も市内から、お雪さんにふんじた頭巾に着物姿の2人の女性が参加。高橋芹花さん(乙房町)は「カメラの多さに緊張したが、参加してみても楽しかった」と笑顔を見せていました。



## 夏休みに元気いっぱい

キッズボンパク

小学生の親子を対象に都城の魅力を体感して楽しむキッズボンパクが、7月30日から8月21日まで行われました。7月30日・31日に高城町の窯元で開催された「粘土で野焼きで器作り 君も縄文人?!」には、市内外から親子10組が参加。子どもたちは、粘土で器や置き物を作り、布やひもで思い思いの模様を付けて独創性あふれる作品作りを楽しんでいました。野崎諒太くん(高崎小3年)は「粘土が軟らかかったけど、思った通りの形の器ができた」と満足した表情を浮かべていました。



## 戦後66年、薄れぬ思い

戦没者・空襲犠牲者合同追悼式

都城市が大空襲に見舞われた8月6日に合わせて戦没者・空襲犠牲者合同追悼式が総合文化ホールで開催され、遺族ら約700人が恒久平和と不戦の誓いを新たにしました。式典では、明治以降の戦没者・空襲犠牲者7,331人を慰霊。献花や千羽鶴の献納などの後、東小学校6年生88人が平和のメッセージを発表しました。戦時中の状況や戦没者の手記、いまだに戦争の続く世界の情勢などを交えながら「命の尊さをしっかり理解し、戦争のない平和な未来を築いていきます」と誓いました。



## 夜空に輝く大輪の花

高崎夏祭り

高崎夏祭りが8月7日、高崎町総合公園で開催され、多くの家族連れらでにぎわいました。昨年は、口蹄疫で中止になり2年ぶりの開催。来場者らは、地元の郷土芸能やトライアルバイクショーを見たり、都城牛の串焼きや焼き鳥などを食べたりに祭りを楽しんでいました。また、最後には、1万発の花火が夜空を彩り、祭りに花を添えました。家族で訪れた重永里咲さん（高崎小3年）は「2年ぶりの祭りで花火が楽しみ。屋台でおいしいものもたくさん買って食べた」と祭りを満喫していました。



## お殿様の暮らしちよつと拝見

企画展「都城のおとのさま」

都城島津伝承館では7月22日から10月2日まで企画展「都城のおとのさま」が開催されています。企画展では主に20代久茂から26代久寛が使用していた印や書物などを解説付きで展示。当時のお殿様の暮らしを伺い知ることができ、久静が京都御所の警備に向かう際に身に付けたといわれる、陣羽織の複製が試着できるイベントを開催。来場者は鮮やかな赤の陣羽織を着て、お殿様気分を味わっていました。次回の試着体験は9月4日と18日に開催予定です。



## 弥五郎どんが結ぶ文化交流の輪

第16回 弥五郎サミット交流会

隼人族の首長「弥五郎どん」を祭る二つのまちの子どもたちが集う弥五郎サミット交流会が8月9日、山之口勤労福祉センターなどで行われました。曾於市の岩川小学校と地元の富吉小学校の児童64人はゲームで打ち解けた後、弥五郎どんの面作りに挑戦。紙粘土でできた二つの面に、朱色や肌色などの絵の具を使って弥五郎どんの色付けを行いました。川越翔太くん（岩川小6年）は「目やひげを描くのが難しかった。帰って自分の部屋に飾りたい」と出来栄に満足した様子でした。





# 人の風景

宮崎シャイニングサンズ

月野 雅人まさと選手



**昨**年、宮崎初のプロチーム設立で話題を呼んだ、今年創立2年目のプロバスケットチームbjリーグ宮崎シャイニングサンズ。同チームに今年2月に入団し、活躍が期待されるのが月野雅人選手（22歳・南鷹尾町）です。

月野選手は、市内の出身。中学校時代には腰をけがして、バスケットを続けることに不安を感じた時期もありましたが、家族の応援もあって、故郷都城を離れ延岡学園高等学校に進学。良き指導者や先輩、後輩にも恵まれ充実した高校生活を過ごせたと当時を振り返ります。この間、2年生の時には全国高校総体で県勢初の優勝を経験しました。

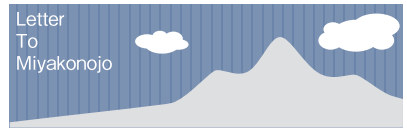
その後進学した鹿屋体育大学では、保健体育の教員免許も取得。厳しい練習と学業を両立しながら、この春大学を卒業し、より上の舞台でプレーしたいとシャイニングサンズに入団しました。プロになった今、家族やチーム

メイトをはじめ、これまで支えてくれた人たちに感謝の気持ちを含め、背番号39サキを背負います。

月野選手のポジションはポイントガード。守備はもちろんのこと、攻撃の起点ともなる重要な役割です。大柄な選手がひしめく中で、決して背の高い方ではありませんが、持ち前の運動量を生かして、コート狭しと駆け回り、時にはゴールも狙います。そんなチーム最年少の月野選手にチームメイトは、若さあふれる元気なプレーを期待しています。

「1勝に固執するだけの学生の時とは違い、プロとして自分も楽しみながらプレーすることに加え、チームを応援してくれるブリーダー（ファン）へ感動を届けた」と話す月野選手。

学生時代に積んだ経験に加え、この夏の厳しい練習に耐え自信を深めたプロのまなざしは、いよいよ10月に迫ったシーズン開幕の日を見据えています。



# 都城讃歌

【離れているからこそ  
郷里への想い】



桑畑 夏生さん

◎プロフィール

宮崎大学教育文化学部卒業。在学中にまちづくり活動に携わる傍ら就職活動を支援するサークルを立ち上げ、イベントなどを実施。大学卒業と同時にNPO法人ETIC（エティック）に就職。宮崎の若者が自らの生き方について真剣に考え、それに向けて行動できる環境の実現を目指す。

特定非営利活動法人エティックのスタッフとして働き始めて5年目になります。

この団体は次世代を担う起業家型リーダーの育成や若い世代にさまざまな機会を提供する団体で、大学生対象のインターンシップ（就業体験）のコーディネートなどを行っています。

都城泉ヶ丘高校から宮崎大学に進学。在学中にまちづくりの活動に関わった事がきっかけで、地元に関わる仕事に就きたいと強く思うようになりました。そんな時に出会ったのが現在働いている団体です。活動理念や事業内容に大きな衝撃を受けて無理に面接していただき、修業という形で勉強させていた

だいております。

現在は仕事の傍ら、宮崎出身者や宮崎にゆかりのある仲間と共に「みやざきわけもんフォーラム」というイベントを主催しています。宮崎で活躍されている経営者や行政の担当者を講師に招き、これまでの人生や宮崎に対する想いを語っていただくというものです。

活動を始めて約2年が経ちましたが、フォーラムの延べ参加者数は150名を超えました。今後はこの活動を軸に「東京で地元宮崎のために出来ること」を考え、一つ一つ形にしていきたいと考えています。

## 学校へ行こう

南九州大学都城キャンパス

立野町3764番地1 ☎21-2111



◎学校のシンボル

「研究棟（本館）」

先生たちの研究室や多くの実習室がある建物です。最上階から見える市街地と夕日は絶景です。

「初めまして南九州大学です！」

南九州大学学友会

南九州大学都城キャンパスは、学生総数523人の小さな大学です。昨年度から新設された教育系の人間発達学部と、大学としては珍しい園芸を学ぶ環境園芸学部の2学部があります。

人間発達学部子ども教育学科は「子どもの心身」「地域」「自然環境」を特色に、地域の核となり顔となる実践力のある「せんせい」を目指して、日々学習しています。

環境園芸学部環境園芸学科は「植物資源科学」「環境科学」「生

命科学」を学び、自然と生物が共存していることを理解し、豊かな感性と科学的知識を持った農学・園芸学専門家になるための学習をしています。

本学は市との公私協力により、地域に密着し、開かれた大学を目指していますが、移転して1年のためいろいろなのが欠けています。そのため、地域の皆さんとのさまざまな活動や交流を通して、都城キャンパスをつくろうと考えています。

11月19日(土)と20日(日)は、大学祭「ひばり祭」が開催されます。学内で育てた野菜や花を販売しますので、ぜひ、お越しください。そして南九州大学都城キャンパスをよろしく願います。